

ICU へのご入学おめでとうございます！4月から始まる新生活に向けて様々な期待や不安を抱えていることと思います。特に寮生活を考えている皆さんはなおさら心配事がたくさんあるでしょう。親元を離れるという決断だけでなく、自炊をしなければならぬ点であったり、ルームメイトとうまくやっていけるだろうかという不安など。そうした疑問や悩みに応えるべく、櫻寮の日常をここで紹介させていただきます。

櫻寮は2010年に誕生した、ICUの3つの新寮のうちの一つで、最新の設備と清潔で開放感のある空間を誇ります。それだけではなくICUの全ての寮の中でもっとも本館（ほとんどの授業が行われる建物）に近く、歩いて1分、走って20秒という最高の立地にあります。早起きが苦手な人にとってこれがいかに救済であるかは説明するまでもないでしょう。さらにはガッキと呼ばれる学生食堂、新Dと呼ばれる建物（郵便局やATM、本屋と売店を兼ねる三省堂書店、カフェが入っている）がいずれも徒歩30秒の距離にあり、図書館へは歩いて2分、キャンパスの外に出る近道である裏門へも自転車で1分あればつきますから、これらの点だけをもってしても、櫻はICUで生活するのに最適な寮であるといえるでしょう。

もちろん、立地だけが櫻の強みではありません。ここからは寮の中の生活を紹介していきます。

## 「居室」

各階にはそれぞれ3つのポッドがあり、ひとつのポッドにつき7つの二人部屋があります。二人部屋といっても、一人につき7.5畳のスペースがあって広々としていますし、本棚とコルクボードで仕切られているのでプライバシーは問題なく守られています。収納スペースも多くあり、机や棚には鍵もついているので貴重品管理についても心配無用です。

ルームメイトは入寮前に行われる部屋割りアンケートに基づいて、可能な限り生活パターンが近いルーミーが割り当てられます。基本的に1年生の最初のルームメイトは上級生になるので、入学したばかりで右も左もわからなくても、一緒に住む先輩に聞けばすぐに学校になじむことが出来ます。特に履修や単位のシステムなど分かりにくい問題についてもすぐにアドバイスをもらえるので、大変心強い存在になるでしょう。年に最低一度は部屋替えがあり、ルームメイトも変わるので、これはちょっとした寮生間の楽しみとなっています。

## 「洗面所、トイレ、シャワー室」

これらの設備はポッドごとに設置されており、掃除の方が毎日清掃してくださるので常に清潔に保たれています。

## 「ソーシャル」

それぞれのポッドはこのソーシャルルームと呼ばれる大きな共有スペースを囲むように配置されています。大きくゆったりとしたソファや大型のテレビがあり、おしゃべりをしたりテレビを見たり、ご飯を食べたりゲームをしたりと寮生が思い思いの時間を過ごす場所です。男子が住む1階はいつも賑やかでスマブラやFIFAのゲームをしたり、ワールドカップなど大きなスポーツイベントがあるときにはみんながテレビの前に集合して盛り上がっています。女子が住む2、3階はドラマを見たり、女子会を開いたり、ご飯を食べながらテレビを見たりして仲良く交流しているとのこと。もっとも夜12時以降は各階それぞれが寝ている人のことも考慮して静かな状況を保っています。

## 「スタディールーム」

キッチンの隣にあるスタディールームは勉強専用の部屋と位置付けられています。人がたくさんいるソーシャルでは集中して勉強できないという人や、徹夜で勉強したいけどベッドという誘惑がすぐ横にある自分の部屋ではちょっと・・・、という人には最適な空間です。

## 「キッチン」

自炊が基本の寮生活ですから、キッチンの設備はととても充実しています。調理器具等は自分で買わなくともすでに揃っていますし、各ポッドにある冷蔵庫とは別にキッチン専用の冷蔵庫もあり、4つあるコンロはすべてIH式なので安全面も問題ありま

せん。調味料は寮生全員がお金を出し合って買っているので、基本的に常に準備されています。

## 「洗濯場」

各階にはそれぞれ洗濯場があり、洗濯機と乾燥機が3つずつ用意されているほか、広い物干し場もあります。

続いて、寮生活のシステムを簡単に説明します。寮生として営む共同生活をより快適なものにするため、毎月一回フロアごとにミーティングを開き、何か問題があればそこで話し合っ解決できるようになっています。また、毎日部屋ごとに回ってくるデューティーという制度があり、これはおもにキッチンをきれいにする仕事を担います。そして毎年9月になるとOYRと呼ばれる他国からの留学生や帰国子女を中心とした9月入学生が入寮し、寮内は国際色豊かな空間になります。こうした異文化との交流も、寮生活の醍醐味と言えるでしょう。

さらに寮生活をより充実させ、また他の寮との交流を深めるために年間を通して様々なイベントが用意されています。入寮してすぐの時期には、ほかの寮と同じく入寮した1年生と知り合うための交流会があります。そして6月と2月には岡田杯とよばれる寮対抗サッカー杯が行われ、実際にプレーする人だけでなく応援も含めて大変な盛り上がりを見せます。櫛寮は2012年から2013年にかけて3連覇を達成し、2015年度の6月の大会でも優勝した強豪で、試合になると50人近くの櫛のメンバーが応援に駆け付けます。また秋には寮祭があり、色々な企画が楽しめますが何といても演芸会こそがこの祭りのメインイベントで、各寮が10分程度の演劇を発表して順位を競うのですが、脚本、演出などすべてを自分たちで作上げるので非常に熱がこもります。櫛はここでも毎年好成績をおさめており、一昨年は3位入賞、昨年は助演男優賞を獲得しています。ほかにもクリスマスにはキャロリング、寮生活を終えて退寮する人たちを送り出すキックアウトなど、たくさんのイベントがあります。もちろんこうしたイベントへの参加は強制ではありません。こうした自由さもまた櫛の過ごしやすさの一因でしょう。

最後に、そしてこれが一番重要かもしれませんが、櫛寮の管理人の渡部夫妻の存在があります。出かける時には「行ってらっしゃい」、帰ってくると「お帰りなさい」と声をかけてくださるお二人は、困ったことがあれば相談に乗ってくださいますし、櫛で過ごす私たちの生活を温かく支えてくださっています。

寮生活を始めるということは、いわばちょっとした冒険に踏み出すようなものです。親元を離れ、自分で自分の世話をしなければならいだけでなく、全く知らない人たちと一緒に住むことになります。当然、暮らしていく中で問題に直面することもあるでしょう。しかし、そうした難しさは私たち寮生がみな経験してきた道。困ったことがあっても、助け合いながら楽しい生活を築き上げていく作業こそが、「寮に住む」ということです。それでは、4月に櫛寮でお会いしましょう！

櫛寮 4年生 城間 知碩



居室

1階



ソーシャルルーム



寮 全体



2階



3階